

ほっかい新報

2012年 週刊 月3回発行
(第1・2・3日曜日)

7月8日(第1878号)

発行所 ほっかい新報社

060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話 011(726)4858
北洋銀行(普)0576770
Eメール:hokkaisinpoo@gmail.com

定 価 月ぎめ 230円 1部80円(〒120円)
年ぎめ 2,760円(〒1,440円)

浜中34m 国内最大級の津波 道の浸水予測にどう対処するか



道は6月28日、北海道太平洋岸で巨大地震の発生を想定した津波予測の最終報告書をつき、5日道議会総務委員会に報告しました。浜中町34m、釧路町31m、えりも町30m弱など、20m以上は11市町におよび、釧路市では10万人の避難がせまられるなど、極めて深刻な事態が予測されます。真下紀子道議が3日の予算委員会でも取りあげました。この津波予測をどうみるか、どう対応すべきか――を考えてみます。(S)

Q1 津波浸水予測の特大は何ですか。

A1 前回07年予測の2.34倍。
今回の予測は、道防災会議地震専門委員会(委員長・笹谷努北太元教授)が、地震の規模を三陸沖北部から根室沖までを震源とする、マグニチュード9.1と想定して、太平洋沿岸、羅臼・松前といった38市町188地点の浸水予測図を作成しました。

最大の値は浜中町琵琶瀬34.6m(南海トラフの高知県34.4mをこえる全国最高)、釧路町昆布森31.5mなどです(表1)。いずれも前回07年予測の2.3倍にもおよぶ、異様な高さです。釧路市で20mをこえる大規模な避難がせまられ、各地で防災計画の抜本改定がさげられず、これまでの防災対応の根本的転換への政策と運動が求められます。

Q2 想定が過大では?

A2 そうとはいえませんが、前回の想定は、十勝を中心に17か所の津波堆積物調査を基にし、今回は根室・噴火湾はじめ新たに堆積物が確認された28地点を追加。これらを合理的に説明できる震源として、根室・青森東方沖までの幅140キロ、長さ420キロの断層を想定し、沈む太平洋プレートに35m、道沿岸側に30m以上の量を、与えて予測しました。

と単発地震との二重の対応策を想定しています。ですから、各地での対応も中規模な地震対応と500年に一度の巨大地震対応策が欠かせず、ハード・ソフト両面にわたる、防災対策の抜本改定が必要です。革新懇など各レベルでの市民的学習・討議も大切です。

Q3 命を守る一時避難所が大切ですね。

A3 そうです。大津波予測が出たら、ひとりでんごんに逃げる、ことが大事です。同時に、20・30分以内に逃げる場所をどう確保するか、が必要です。豊頃町では、大津漁港

の住民は一時避難場所として築山(標高12m)盛り土を行なったが、今回は21mだから、再検討が必要だ。大津地区では河口から離れて、長節地域の高い山林に広場をつくる案、複数の避難道路の創設を検討中です。広尾町では、十勝港に近い入船地区と音調津(おしらべつ)に、避難階段を造成する工事に着手します。釧路市では高い道管住

津波の高さ(m)	第1波到達までの時間(分)
羅臼町	31
標津町	40
別海町	73
根室市	27
浜中町	21
厚岸町	24
釧路町	24
釧路市	30
白糠町	32
浦幌町	30
豊頃町	31
大樹町	35
広尾町	36
えりも町	31
様似町	33
浦河町	30
新ひだか町	30
新冠町	37
日高町	43
むかわ町	50
厚真町	53
苫小牧市	51
白老町	47
登別市	49
室蘭市	48
伊達市	70
洞爺湖町	79
豊浦町	88
長万部町	86
八雲町	80
森町	57
鹿部町	51
函館市	35
北斗市	66
木古内町	75
知内町	76
福島町	73
松前町	83

Q4 防災の財源はありますか。

A4 十分にありません。昨暮れからの全国防災・減災事業債があり、地元自治体負担は軽微です(本紙12・2・15)。

浦幌町では防災拠点避難路に2.4億円の事業費を申請しています。各地で大いに活用するつもりをよびかけます。

有権者の心より「たたかひのエネルギー」

6月15日、党函館地区委員会と渡島・松山地区委員会は、次期衆院選小選挙区8区の候補者の古岡ともや氏が立候補を辞退したのにともない、党函館地区委員長の高橋佳大氏を8区の候補として発表しました。高橋氏の決意と、周囲の活動を紹介します。

衆院 小選挙区 北海道8区 高橋 佳大さん

私は、記者会見での表明「民主野田政権に真っ向からたたかひを挑んで、みんなが幸せになる社会に変革したい」「消費税増税に頼らないで、能力に応じた税負担をすすめ、内需を温めて、社会保障を充実し、財政危機を解決する」を実践する活動にとりこんでいます。

とても暑い日でした。買い物帰りの高齢の女性。帰宅したばかりだと

見えて杖をついて玄関口に立っていました。少し離れたところから「こんにちは共産党です」とあいさつすると、大きな声で「そんなことを顔をみれば共産党だつてわかる」と怒っているようにもみえます。近づいて名刺を渡して名乗ると「ずいぶん薄い名刺だ」「すみません。お金がないもんで」とヘンな弁解をする

「病気が顔だ」と。「病気が」

「と聞かれました。清野」

略歴
1959年 釧路市生まれ
72年 釧路市立光陽小学校卒業
75年 函館市立深堀中学校卒業
78年 道立函館中部高校卒業
84年 東北大学法学部卒業
84年 宮城厚生協会坂総合病院勤務、民青塩釜地区委員長
99年 函館市議団長3期
2007年 党函館地区委員会委員長

たことがわかりました。そして生い立ち、生まれながらの身体障害者として、当時は社会に触れることもなく、時計の見方がわかったのも19歳だったと語ります。「たまには喫茶店でコーヒーを飲みたいさ。ガチャン(自動販売機)のジュースを飲みたいこともあるさ。

道8区の予定候補者として発表されてから、党の力をつけながら来るべき決戦をたたかうために、有権者の心の声を吸収し、それをたたかうエネルギーに変え、党支部の仲間と地べたを毎日、毎日這っています。

焦点

6月27日の真下紀子道議会質問は、北海道の「原子力ムラ」を告発し見えたえがかった。ストレステスト(安全評価)から活断層調査まで、すべて原発推進勢力が請け負っていた。本来、第三者で行われるべきなのに。再び始まった原発トライアングル「政財・官」による「安全神話」を許してはなりません。

「国民と日本共産党の力で、廃案へ向け知恵を出すときである。」

赤旗へ日曜版

有権者比21%超の署名運動で

国保税引き上げ断念させる

釧路町



てきた日本共産党釧路町議団中田議員がレポートします。

国保税引き下げへ 大きな声
釧路町は平成21年に5年計画の「再生緊急プラン」を作成、この中で国保累積赤字の解消計画を盛り込み、22年度は8.4%(3415万円)、23年度は8.1%(4051万円)の2年連続大幅引き上げを行ってきま

した。友の会釧路町支部・民商釧路町支部・新婦人釧路町支部・党支部協議会で構成され、11月24日に釧路町議会議へ「国保税引き上げに耐えられない」と訴え、町民の願いを中田議員が紹介議員となり署名3、479筆を提出(写真)、委員会での審議が行われてきました。

議員が紹介議員となり署名3、479筆を提出(写真)、委員会での審議が行われてきました。議会提出後も署名運動を続け、12月に85筆を追加提出、合計3564筆となり有権者比で21.4%を超えました。国保税を下げたいとの町民の願いの大きさが示されています。

安全神話の復活は許しません

野田内閣は、大飯原発3号機の再稼働に続き、全国の原発の再稼働について順次判断する考えを表明。原子力安全・保安院の評価待ちとなっている泊原発1、2号機について、北海道電力社長は「11月までに間に合えば」と期待を表明しました。世論調査で再稼働反対が6割近く(このほ)、住民理解は得られていません。

安全神話を復活させ電力不足で国民をおどすやり方は、まったく安全無視の何ものでもありません。闘いはこれから、大

北海道から「原発ゼロ」の大波を

泊再稼働阻止にむけて



12.6.26 怒りのデモ

飯の次は泊(原発)は断じて許しません。ストレステスト(安全評価)を原子炉メーカーの三菱重工業が担当、活断層調査は北海道電力の子会社・北電総合設計が実施して行いました。

しかも、北電会社に道職員が天下り、道の原発政策を審査する「有識者検討会議」委員には原発マネーが寄付されていました。

「再稼働なし」「原発ゼロ」の決断こそ、夏は乗り切れます。この夏が一昨年と同じ猛暑だとしても最大電力需要は506万kw。泊

「再稼働なし」「原発ゼロ」の決断を日本共産党は提案します。冬についても、最大電力は579万kw(10年1月)ですが、定期検査中(5月20日から10月22日)の厚真4号機(火力・70万kw)が再稼働すれば、ピーク時も乗り切れます。

「我慢できる」82%(JNN世論調査)と、省エネ・省電力の機運が高まっていることです。電力需給の情報公開と省エネ・省電力の取り組みを支援する仕組みが大切です。

市民の会は、道内の農民連、有機農業協同組合、子どもたちの未来をつくる会、農業ジャーナリストの会、研究者などが加わっています。国のかたちを大きく変えるTPPなのに、十分な情報提供

したが、委員会では不採択となりました。第2回定例会の採決では、日本共産党議員団以外の議員が反対し、引き下げを求める町民の願いは届きませんでした。が、釧路町が「再生プラン」で示していた、今年6800万円超の引き上げ計画は、町民の署名など引き上げに反対する多くの声で見送られました。

引き上げ断念へ 大きな力
委員会審議では、陳情者の意見聴取。町担当課から現状の説明。各委員の議論と採決が行われました。審議では、佐藤昭平委員が国保加入者の実態や町の財政状況を明らかにしながら町民の願いを実現するよう奮闘しました。

町民生活応援と 財政再建は可能
日本共産党議員団は、委員会や賛成討論で「私

が明らか」「財政を理由に町民生活を後回しにするものではない。両立は可能」と提案し、「安心して病院にかかれる国保の実現が不可欠」と、訴えました。町は財政が厳しいとしながら、7億円以上もの基金を貯め込んでいます。誰が見てもおかしいことです。

今後の連絡会は、町民説明会を開催しこの間の経過を町民に知らせ、町へ直接「国保税引き下げ」の要望を行う予定です。町議団は、町民生活応援と財政再建は可能と考え、選挙戦での公約を実現するため、12月議会でも国保税引き下げの議案提案権の活用など取り組みを強めます。

「我慢できる」82%(JNN世論調査)と、省エネ・省電力の機運が高まっていることです。電力需給の情報公開と省エネ・省電力の取り組みを支援する仕組みが大切です。

お知らせ

菊池芳昭「ヨーロッパ・アルプス」写真展
7月6日(金)〜12日(内紀伊國書店札幌本店) (北5西5)

青年・学生と考える自然エネルギー
13日(金)19時〜札幌エルプラザ環境研修室
講演「自然エネルギーの可能性は∞」大友詔雄・自然エネルギー研究センター長/実行委011-61616304

道民カレッジ連携講座
16日(祝)13時30分〜赤れんが

「アイヌ民族副読本」問題を考える市民の集い
16日(祝)14時〜札幌かでる2・7・700研修室
提言・市川守弘弁護士/シンポジウム/3000円

井上正博映像彫刻と麗子水墨画2人展
20日(金)〜8月18日(土)小さなギャラリー絵本館(新十津川・ふるさと公園西) 011-251-763185

難治性がん啓発キャンペーン札幌
21日(土)第1部9時〜ウオーター北大クラーク会館前/第2部13時〜難治性がん医療フォーラム道自治労会館(北6西7)/申込FAX 011-896-7660

市民公開セミナー 札幌
21日(土)14時〜ニューオオタニ札幌2F「鶴の間」(北2西1)
特別講演「B型・C型肝炎の新しい治療の話」熊田博光/国公共済済の門病院分院院長/先着200名/011-222-2133

「TPPを考えると明日のために」明日のためにTPPと正面から向き合う本として略

「TPPとは何か、原則関税ゼロなら北海道の農業、食の安全、医療等はどうなるか、北海道から国民的議論を巻き起こそう」と「TPPを考える市民の会」がブックレットを低価格(400円)で、5月末緊急出版しました。

市民の会は、道内の農民連、有機農業協同組合、子どもたちの未来をつくる会、農業ジャーナリストの会、研究者などが加わっています。国のかたちを大きく変えるTPPなのに、十分な情報提供

TPPとは何か、原則関税ゼロなら北海道の農業、食の安全、医療等はどうなるか、北海道から国民的議論を巻き起こそう」と「TPPを考える市民の会」がブックレットを低価格(400円)で、5月末緊急出版しました。

市民の会は、道内の農民連、有機農業協同組合、子どもたちの未来をつくる会、農業ジャーナリストの会、研究者などが加わっています。国のかたちを大きく変えるTPPなのに、十分な情報提供

「TPPを考える市民の会」編 400円
道民連011-721-3677

「明日のためにTPPと正面から向き合う本」

「明日のためにTPPと正面から向き合う本」

「明日のためにTPPと正面から向き合う本」

「明日のためにTPPと正面から向き合う本」

「明日のためにTPPと正面から向き合う本」